

平成 13 年度身体拘束ゼロシンポジウム開催要綱

目 的 : 平成 13 年 3 月 27 日に開催された「身体拘束ゼロシンポジウム」から 1 年が経過した。

社団法人全国老人保健施設協会として、利用者の尊厳・ケアの質の向上を念頭に継続して「身体拘束ゼロ作戦」推進の一環としてシンポジウムを開催し、老人保健施設職員をはじめ、介護老人福祉施設・介護療養型医療施設等職員、介護保険事業者や利用者及びその家族も対象として、更に広く国民に「身体拘束ゼロ作戦」の趣旨を周知するとともに、抑制全般の廃止の重要性を認識していただくことを目的とする。

日 時 : 平成 14 年 2 月 6 日 (水) 12:30~17:00

場 所 : キャピトル東急ホテル 地下 2 階 「真珠の間」
〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-10-3
TEL03-3581-4511 FAX03-3581-5822

募集人員 : 1,000 名

案内先 : 社団法人全国老人保健施設協会正会員、準会員、団体・個人賛助会員、都道府県介護保険担当課、関係団体、施設利用者及びその家族 (施設を窓口とし広報活動をする。)

主 催 : 社団法人全国老人保健施設協会

後 援 : 厚生労働省 (予定)

カリキュラム (案) : 別紙参照

平成 13 年度身体拘束ゼロシンポジウムカリキュラム (案)

平成 13 年 12 月 12 日現在

時間	内 容	講 師
12:30	主催者挨拶	社団法人全国老人保健施設協会 会 長 山口 昇
12:35	来賓挨拶	厚生労働省等
12:40	21 世紀に求められるケアの質について 「50 分」	●身体拘束ゼロ作戦推進会議座長 あいち健康の森・健康科学総合センター センター長 井形 昭弘
13:30	13:30	
13:30	基調講演 「身体拘束をなくすために」 「50 分」	●老人保健施設伸寿苑 施設長 浜村 明德
14:20	14:20	
	休 憩 「15 分」	
14:35	シンポジウム (パネルディスカッション) (シンポジスト 4 名) (コーディネーター 20 分 シンポジスト 20 分×4 名=80 分 ディスカッション 45 分 合計 145 分) 「2 時間 25 分」	●コーディネーター 社団法人全国老人保健施設協会 副会長 漆原 彰 ●シンポジスト 「ケアの現場から」 社団法人全国老人保健施設協会 管理運営委員会身体拘束ゼロ推進部会 委 員 松井 幸子 管理運営委員会リスクマネジメント部会 委 員 金谷さとみ 「利用者代表」 呆け老人をかかえる家族の会 理 事 笹森 貞子 「医療の立場から」 定山溪病院 院 長 中川 翼
17:00	17:00	
17:00	終了	